

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol. 22をお届けいたします。

facebook



## 8月のTOPICS

- ☆ ウエスト身長比と内皮機能不全との関連 — FMD-J 研究からの報告書
- ☆ 8月の学会展示のご案内

### ■ ウエスト身長比と内皮機能不全との関連 — FMD-J 研究からの報告書

腹囲、ウエスト身長比(WHtR)やBMIは、疾患や肥満度などの評価、心臓血管リスクを予測するための簡単なスクリーニング検査として知られていますが、どの指標が最も優れているかは明らかにされていません。そこで、日本のFMD大規模多施設コホート研究における心血管イベント予測のためのサロゲートマーカーとして各指標と血流依存性血管拡張(FMD)の低下との関連を調べた研究より今回はご紹介いたします。

冠動脈疾患と高血圧または糖尿病を有する合計1645人のうち1087人を対象に分析をおこなった結果、高WHtRグループ( $\geq 0.5$ )は、低WHtR群と比べて高血圧・脂質異常・糖尿病・脳血管疾患などの罹患率およびアテローム性動脈硬化症に伴う炎症・酸化ストレスマーカーが有意に高値を示したことが報告されました。

またFMD低値の予測因子としては高WHtR (OR 1.39, CI 1.02-1.88,  $p=0.037$ ) および高齢(65歳以上) (OR 1.55, CI 1.19-2.01,  $p=0.001$ )であることが確認されました。しかしFMD低値と腹囲は男女とも疾患および脳心血管リスクと関連性が認められず、またBMI高値についても同様な結果となりました。これらの結果からWHtRは、腹囲やBMIよりもFMD低下を予測する優れた予測因子であり、動脈硬化の進行リスクをより敏感に判定できる可能性があるということです。

心血管疾患での死亡率との関係性を調べるためにはさらなる研究が必要としていますが、ウエスト身長比が内皮機能不全や動脈硬化と関連が大きく関わりあっている様です。

引用文献：Circ J. 2017 Jul 7.



### ■ 8月の学会展示のご案内

第58回日本人間ドック学会学術大会にて機器展示をおこないます

会期：8月24日(木)・25日(金)

会場：大宮ソニックシティビル棟 地下1階 第2～第5展示場